

令和4年度事業の事例紹介

ゼンリン（秋田県横手市）

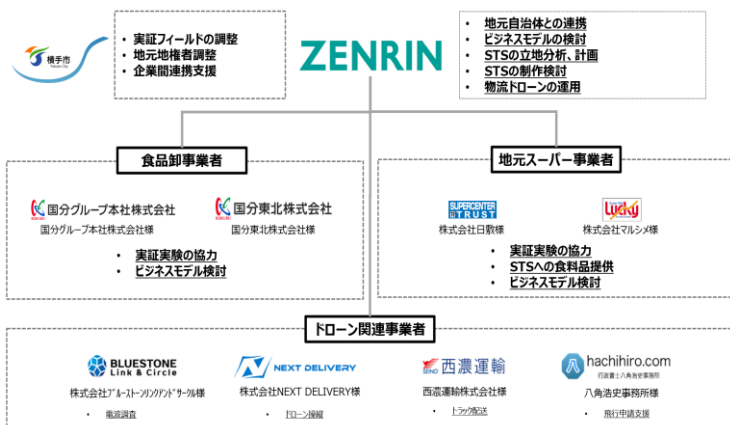
地域の課題

- ・ 高齢者人口の割合は約4割となっており、免許を返納した高齢者等は店舗への交通手段の確保が困難な状況となっている。
- ・ 従来の中心市街地でも空き店舗が増加しており、食料品を購入する店舗までの距離が遠くなっている。
- ・ 買い物等の移動は自家用車に依存している。また、公共交通の利用者が減少しており、路線の廃止が増加している。



秋田県横手市

体制図



実証内容

- ・ 出店コストを抑えることを目的にSTS(Smart Terrace Store)と呼ぶ実店舗を2地域の横手市公共施設に設置。住民はタッチパネル式注文システムにて食料品や日用品を注文。注文品は翌日以降にトラックにてSTSまで配送。
- ・ 実証地域はスーパーまでの直線距離が5Km以上離れている増田地域、十文字地域にて約2週間STSを運営。
- ・ 配送距離を延ばすことを目的に雄物川地域にて、ドローンによる注文品配送実証を実施。全長約6Kmの距離を複数回配送。



【住民へタッチパネルの説明】

利用状況・効果・課題等

- ・ 「買い物の移動時間が短くなり楽になった」「自由な時間に買い物ができて便利」という利用者からのコメントを受け、買い物課題に対する有用性を確認。
- ・ 「取扱商品の拡充」や「注文と受取が別日で煩雑」という課題解消により、更なる利便性向上につなげる一方で、継続的に運営できるための仕組みの構築が重要。



【ドローンによる配送実証】